

第89回 院内コンサート

」□ 演奏者プロフィール ♬♪

さいとう りゅう

ピアノ 斎藤 龍さん 2017年5月 第59回ご出演



東京藝術大学を経て同大学大学院修士課程、チューリッヒ芸術大学大学院コンサートディプロム 課程 及び同ソリストディプロム課程修了。ブラームス国際コンクール入賞をはじめ受賞多数。 ソリストとして国内外でオーケストラとの共演やソロリサイタルを開いている他、室内楽奏者、伴 奏者としてタルを開いている他、室内楽奏者、伴 奏者として多くのコンサート・音楽祭に出演し、またテレビ・ラジオ等のメディア、舞台などにおいても精力的に演奏活動をしている。 現在、演奏活動の傍ら東京藝術大学、沖縄県立芸術大学、洗足学園音楽大学的東京藝術大学、沖縄県立芸術大学、洗足学園音楽大学は野野にもあたっている。全日本ピアノ指導者協会 PTNA 正会員、日本ベートヴェンクライス会員、 横浜音楽文化協会会員。オフィシャルサイト www.ryusaito.com/

プログラム

J.S. バッハ パルティータ第6番 ホ短調 BWV830

ベートーヴェン=リスト 「アデライーデ」

日時 : 令和元年 11 月 16 日 (土) 13 時 30 分~

場所 : 亀田病院 新館待合ホール

協力:横浜音楽文化協会

第89回 院内コンサート

プログラムと曲目解説

J.S. バッハ パルティータ第6番 木短調 BWV830

バッハは鍵盤楽器のためにフランス組曲、イギリス組曲、パルティータとそれぞれを6曲ずつ 書いた。パルティータというの名前は 17 世紀では変奏曲の意味をもっていたが、舞曲のスタイルを用いた統一性のある組曲という意味に変わった。この曲ではトッカータ、アルマンド、コレン テ、エア、サラバンド、ジグの6曲から構成されている。トッカータのアルペジオからはじまり、サラバンドの荘厳さ、ジグの対位法などこの曲にしかない魅力に溢れており、最も情感に溢れて いる組曲でもあるように思う。

ベートーヴェン=リスト 「アデライーデ」

ベートーヴェンの作品の中であまり陽が当たらない歌曲だが、 この「アデライーデ」のメロ ディーはとても魅力的であり、作曲 した当時でも人気があったようだ。巷での人気曲をアレンジし て 演奏するのが当時の作曲家の通例で、ベートーヴェンの素朴で美 しい旋律とリストによる華やか なピアノアレンジが両方楽しめ る作品となっている。

協力:横浜音楽文化協会



第89回 院内コンサート

~Part II~

ヴァイオリン

」』 演奏者プロフィール ♪♪

なかたに てったろう 中谷哲太朗



3 歳より山澤敦子氏の指導の下ヴァイオリンを始める。2016 年ハマのジャックソリストオーディション合格。第 34 回かな がわ音楽コンクールにおいて神奈川県教育委員会教育長賞受 賞。第 73 回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。東京ジュニアオーケストラソサエティ団員。現在、岩崎裕子氏、篠崎 史紀氏に師事。横浜市立庄戸小学校 5 年。

なかたに れおな



4 歳より山澤敦子氏の指導の下ヴァイオリンを始める。2017年ハマのジャックソリストオーディションにて JACK 賞受賞。第71回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第34回かながわ音楽コンクールにて神奈川新聞社賞受賞。東京ジュニアオーケストラソサエティ団員。現在、岩崎裕子氏、篠崎史紀氏に師事。横浜市立上郷中学校2年。



この食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の

プログラム

J.S.バッハ パルティータ第3番より ブーレ(哲太朗)

J.S.バッハ パルティータ第2番より アラマンダ(怜央奈)

H.ヴィエニャフスキー

★2つのヴァイオリンのためのエチュード Op.18 第2番

日時 : 令和元年 11 月 16 日 (土) 14 時 15 分頃~

場所 : 亀田病院 新館待合ホール

協力:横浜音楽文化協会